

「包む」に挑む
「包む」を創る

第60期株主通信

2021年1月1日～2021年12月31日

ダイナパック株式会社

証券コード：3947

ごあいさつ

目指すは“永遠企業” 果たすべき役割は“世の為、人の為”

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ダイナパック株式会社は、2005年大日本紙業株式会社と日本ハイパック株式会社が合併して誕生しました。

互いの強みを学び、磨き上げ、One Companyとして融合することにより包装業界にあって存在感のある会社として成長してまいりました。

IT、AIの進化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により社会や人々の行動は大きく変化しつつあります。また、サステナブルな社会を実現するために企業が負う責任は益々重くなっています。

このような状況下において、ダイナパックは、事業活動を通じて“世の為、人の為”になることを果たすべき役割として認識し、社会や顧客から支持され続ける“永遠企業”を目指します。



今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ここに当社第60期（2021年1月1日から2021年12月31日まで）株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月

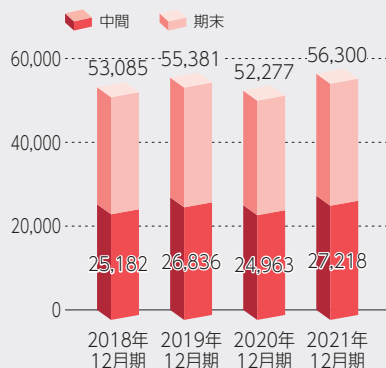
代表取締役社長 齊藤 光次

業績ハイライト

● 売上高

(単位：百万円)

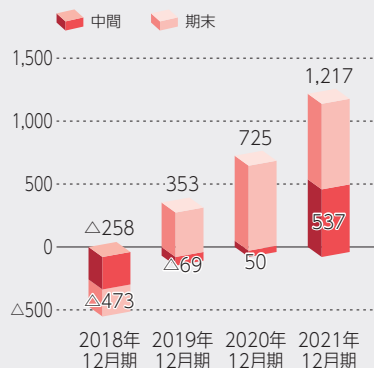
563億00百万円（前期比7.7%増）



● 営業利益

(単位：百万円)

12億17百万円（前期比67.8%増）

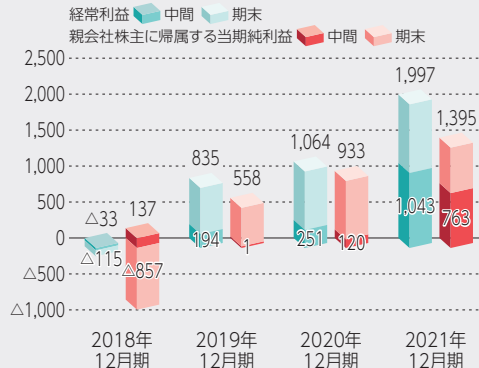


● 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

19億97百万円（前期比87.6%増）

13億95百万円（前期比49.4%増）





経営環境について

当連結会計年度におけるわが国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下で、ワクチン接種の進展や海外需要の回復により企業業績には持ち直しの動きがみられたものの、一部の経済活動の制限は断続的に続き、供給面での制約や原材料価格、金融資本市場の変動等による下振れリスクをはらんだ不透明な状況で推移しました。

世界経済においても、米国や中国など一部の国では回復傾向がみられましたが、欧州や東南アジアでは感染再拡大により予断を許さない状況が続きました。

段ボールの国内生産動向は、1－12月累計数量（速報値）では前年比103.2％（2021年12月速報）と、電気器具・機械器具用や通販・宅配・引越用を中心に全般的に増加傾向となりました。

当期の取り組み

当社グループの国内販売数量は、段ボールケースでは輸出が好調であった電機・機械向けや外出自粛で需要が増えた通販向けがけん引し、前年比103.4％となりました。

段ボールシートでは、ボックスメーカーからの需要回復により104.3％となりました。

収益面においては、段ボールの販売数量が増加したこと、印刷紙器事業において業績が回復したこと、生産性の改善などにより増益となりました。

海外においては、販売面では比較的堅調に推移したものの、主原材料価格上昇の先行負担や、感染急拡大で生産活動に制約を受けた影響により収益面では厳しい状況で推移しました。

中期的な経営施策としては、2021年から2023年までの

3年間を対象期間とする中期経営計画に基づき、財務基盤の強化を図りつつ、成長市場への投資を通じて売上高および収益力の向上により企業価値の向上を目的として、構造改革による収益力強化、海外事業の持続的成長、新たな日常への変化対応力強化に取り組んでおります。

以上の結果により、当社グループの業績は次のとおりとなりました。

〔連結〕

売上高	56,300百万円	前期比	107.7%
経常利益	1,997百万円	前期比	187.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,395百万円	前期比	149.4%

対処すべき課題

今後の日本経済については、引き続き、オミクロン株を含めた変異株による経済への影響、供給面での制約や原材料価格の高騰などの下振れリスクの顕在化に注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視していく必要があります。

また、世界経済においても、感染の再拡大のほか、世界的なインフレの進行、資産バブル、過剰債務問題などの当面のリスクに警戒していく必要があります。

このような環境において当社グループは、新型コロナウイルスによる影響で落ち込んだ需要の回復期を、次なる成長に向けた準備をする期間と捉え、2021年から2023年を対象とする「中期経営計画」を推進しております。

収益体質への転換を確実なものとするとともに、さらにその先の成長に向けた取り組みを進めてまいります。

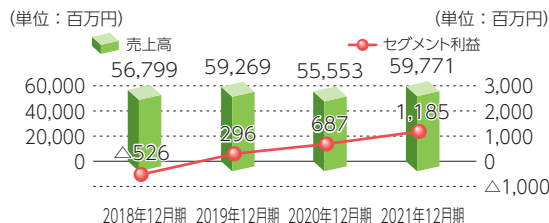
セグメント別概況

包装材関連事業

事業内容

段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売

当セグメントにおきましては、売上高は59,771百万円（前期比107.6%）、セグメント利益（営業利益）は1,185百万円（前期比172.4%）となりました。



不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は371百万円（前期比94.3%）、セグメント利益（営業利益）は303百万円（前期比92.2%）となりました。

連結財務諸表

詳細情報は

ダイナパック IR

検索



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 2020年12月31日現在	当期末 2021年12月31日現在
資産の部		
① 流動資産	21,386	23,410
② 固定資産	45,476	42,782
有形固定資産	21,223	21,016
無形固定資産	816	690
投資その他の資産	23,436	21,075
資産合計	66,862	66,192
負債の部		
③ 流動負債	18,893	19,037
④ 固定負債	8,754	7,978
負債合計	27,647	27,016
純資産の部		
株主資本	29,471	30,379
その他の包括利益累計額	9,688	8,732
新株予約権	8	8
非支配株主持分	46	56
⑤ 純資産合計	39,214	39,176
負債純資産合計	66,862	66,192

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで	当期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで
売上高	52,277	56,300
売上原価	43,319	46,675
売上総利益	8,957	9,624
販売費及び一般管理費	8,232	8,407
営業利益	725	1,217
経常利益	1,064	1,997
親会社株主に帰属する当期純利益	933	1,395

連結キャッシュ・フロー計算書

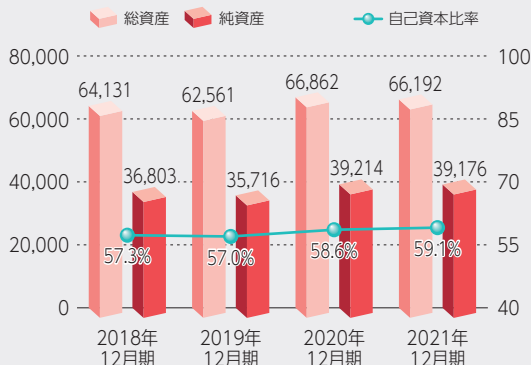
(単位：百万円)

科目	前期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで	当期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,764	4,298
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,588	△ 1,593
⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,019	△ 1,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	△ 4
現金及び現金同等物の増減額	230	1,035
現金及び現金同等物の期首残高	1,997	2,228
現金及び現金同等物の期末残高	2,228	3,263

総資産／純資産／自己資本比率

(単位：百万円)

(単位：％)



Point

- ① 流動資産では、売上高の増加にともなう売上債権の増加などにより、前連結会計年度末に比べ20億23百万円増加し234億10百万円となりました。
- ② 固定資産では、投資有価証券の含み益の減少などにより、前連結会計年度末に比べ26億94百万円減少し427億82百万円となりました。
- ③ 流動負債では、生産高の増加にともなう仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億32百万円増加し190億25百万円となりました。
- ④ 固定負債では、投資有価証券の含み益の減少にともなう繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ7億64百万円減少し79億90百万円となりました。
- ⑤ 純資産では、投資有価証券の含み益の減少などにより、連結会計年度末に比べ38百万円減少し391億76百万円となりました。
- ⑥ (営業活動によるキャッシュ・フロー)
営業活動により得られた資金は42億98百万円（前連結会計年度は27億64百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益19億48百万円および減価償却費18億52百万円などによるものであります。
- ⑦ (投資活動によるキャッシュ・フロー)
投資活動により使用した資金は15億93百万円（前連結会計年度は15億88百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14億74百万円などによるものであります。
- ⑧ (財務活動によるキャッシュ・フロー)
財務活動により使用した資金は16億65百万円（前連結会計年度は10億19百万円）となりました。これは主に、短期借入金の返済6億91百万円、長期借入金の返済4億20百万円および配当金の支払4億95百万円などによるものであります。

会社情報



会社概要 (2021年12月31日現在)

商 号	ダイナパック株式会社
本 社	〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目1番1号
登記上の本店所在地	〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目14番15号
資 本 金	40億円
従 業 員	2,257名(連結) 669名(単体)
設 立	1962年(昭和37年) 8月
事 業 内 容	段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売、不動産の賃貸

役員 (2021年12月31日現在)

代表取締役社長	杉 山 喜久雄	取締役	深 井 靖 博
代表取締役副社長	齊 藤 光 次	取締役	富 澤 豊
取締役専務執行役員	大 山 英 男	取締役常勤監査等委員	仲野谷 公 美
取締役専務執行役員	野 澤 政 司	取締役監査等委員	児 玉 弘 仁
取締役専務執行役員	篠 岡 尚 久	取締役監査等委員	松 若 恵理子

- (注) 1. 取締役の深井靖博氏および富澤豊氏は、社外取締役であります。
2. 取締役監査等委員の児玉弘仁氏および松若恵理子氏は、社外取締役監査等委員であります。
3. 当社は、取締役の深井靖博氏、富澤豊氏および取締役監査等委員の松若恵理子氏を東京・名古屋両証券取引所の定めに基づく独立役員として指定しております。
4. 取締役監査等委員の松若恵理子氏の戸籍上の氏名は、松本恵理子であります。

ネットワーク



国内事業所 7
国内グループ会社 9
海外グループ会社 6

国内・海外に広がる、ダイナパック・グループ

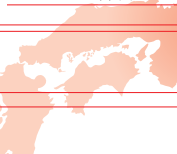
川越事業所



旭段ボール(株)厚木工場



ダイナパック(株)本社



多治見ダイナパック(株)

土岐ダイナパック(株)中津川工場

宮城ダイナパック(株)古川工場

宮城ダイナパック(株)登米工場

福島事業所



宇都宮ダイナパック(株)

旭段ボール(株)岩槻工場

クラウン紙工業(株)

東京営業所

沼津ダイナパック(株)

静岡事業所



(株)小倉紙器

つくば事業所



旭段ボール(株)本社

土岐ダイナパック(株)



2021年6月1日付けでDYNAPAC(HK)LTD.および泰納包装制品貿易(深圳)有限公司を連結子会社の範囲より除外しました。

株式情報



発行済株式総数 9,917,509株 (自己株式405,082株を除く。)

株 主 数 2,492名

単 元 株 式 数 100株

大 株 主 の 状 況

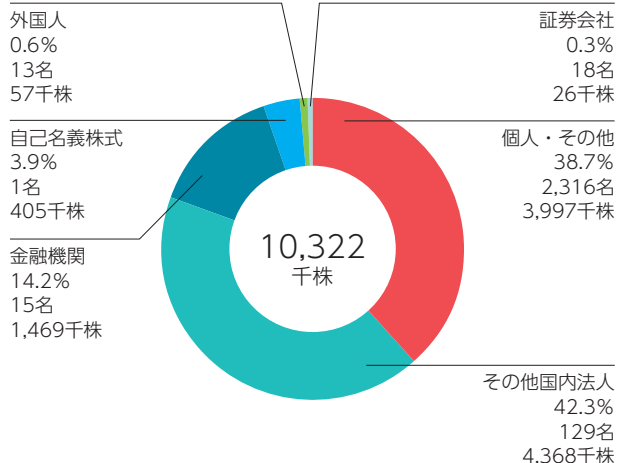
株主名	持株数	持株比率
カゴメ株式会社	1,703千株	17.1%
ダイナパック取引先持株会	1,021	10.3
株式会社三菱UFJ銀行	313	3.1
伊藤忠紙パルプ株式会社	289	2.9
丸紅フォレストリンクス株式会社	277	2.8
レンゴー株式会社	275	2.7
王子マテリア株式会社	272	2.7
第一生命保険株式会社	266	2.6
大王製紙株式会社	241	2.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	210	2.1

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除し算出しております。

2. 当社は自己株式405千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(2021年12月31日現在)

● 所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

当社の

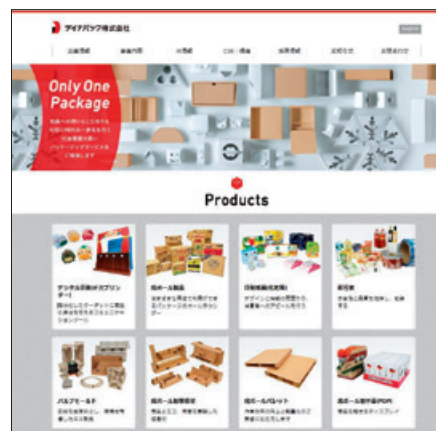
- 会社情報
- IR情報
- 採用情報

などはこちらからご覧ください。

ダイナパック

検索

<https://www.dynapac-gr.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬
単元株式数	100株
基準日	
定時株主総会・期末配当中間配当	毎年12月31日 毎年 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
電子公告・決算情報掲載の ホームページアドレス	https://www.dynapac-gr.co.jp/koukoku.htm

(ご案内)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

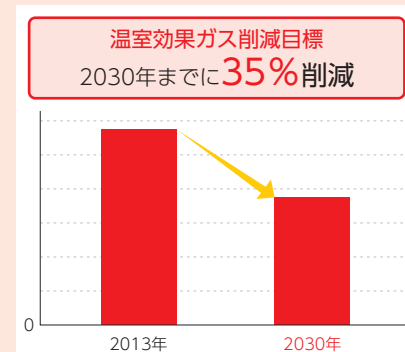
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

TOPIC

温室効果ガス削減の取り組み



ダイナパックは、国内グループのScope1.2の温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを実施しています。2030年までに**35%削減 (2013年対比)**を目標とし、具体的な課題に取り組んでいきます。

これに加え、政府の掲げた2030年度までに46%削減 (2013年度比) という目標に向けて、当社グループとしてさらなる施策を検討して取り組んでいきます。

主な取り組み内容

- ・ボイラー関係の省エネ実施 (7%削減)
- ・消費電力の省エネ実施 (5%削減)
- ・重油ボイラーをガス化 (3%削減)
- ・フォークリフトを電化 (2%削減)
- ・太陽光パネル導入 (みよし事業所の電力15%分)

ダイナパック株式会社

本社：名古屋市中区錦三丁目14番15号

TEL：052-971-2651



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。